

タイトル： 第 1 回 発明コンテストのための実演・実習教室

今月は夏真っ盛りの 8 月 19 日(土)、御坊市勤労青少年ホームにて、11 月に宮子姫みなとフェスタにて受賞者表彰式が行われる『発明コンテスト』のための実演・実習第 1 回教室を開催しました。

今年のテーマはダンボールを使った発明コンテストです。

教室では、クラブ員それぞれアイデアを凝らしたダンボールの作品の製作に取り掛かりました。和歌山工業高等専門学校 OB の指導員らが中心となって指導し、クラブ員 22 名が参加しました。

今回、班は学年別ではなく、学年合同で、机も A 班はクラブ員に選んでもらいました。大きな作品を作る子は、机では小さすぎるので床に座って作業をしていました。

まず紙に作品のサイズをより詳しく考え、設計図を書き、次にダンボールにサイズを書き、最後にカッターで切り、両面テープやじしゃくを貼って製作を進めました。



B班はクラブ員1～2人に指導員が1名つき、一緒にお話をしながらアイデア用紙をもう少し細かく書き、製作に入りました。



みんな、空間を存分に使って、思い思いに作業をしていました。



次回は9月9日(土)、同会場にて第2回発明コンテストのための実演・実習教室を開催します。実演・実習教室は2回で終了です。

今回は夏休み中の活動ということもあり、お休みのクラブ員さんも数人いたので、次回はもっとにぎやかな教室になることでしょう！

(平成 29 年 8 月 御坊市少年少女発明クラブ)